



各 位

会 社 名 株式会社夢テクノロジー
代 表 者 名 代表取締役社長 本山佐一郎
(J A S D A Q ・ コード 2 4 5 8)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役副社長 金子壮太郎
電 話 0 3 - 3 2 1 0 - 1 2 3 0

新中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 10 月 30 日付け開示の中期経営計画（平成 28 年 9 月期から平成 30 年 9 月期）につきまして、最近の業績動向踏まえて見直しを実施し、新たに平成 29 年 9 月期を初年度とする新中期経営計画（平成 29 年 9 月期から平成 31 年 9 月期）を下記の通り策定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 今期の業績及び今後の業績目標

(百万円)

	平成 28 年 9 月期 (実績)	平成 29 年 9 月期 (計画)	平成 30 年 9 月期 (計画)	平成 31 年 9 月期 (計画)
売 上 高	5,805	7,200	9,200	11,590
純 利 益	405	370	430	560
期 中 採 用 人 数	460 人	675 人	900 人	1,200 人
期 末 技 術 者 数	1,131 人	1,530 人	1,980 人	2,580 人

2. 新中期経営計画策定の背景

当社は、「増収増益」を目的とし作成した「中期経営計画」に基づき、営業面では現状の労働市場における顧客企業のニーズを見極め、既存の派遣領域を強化するとともに NEW マーケットの開拓も進めてまいりました。また、採用面に関しては、若い未経験人材や女性、外国人エンジニアの積極採用といった独自の採用路線を展開しており、求人費など採用コストの先行投資等の施策を実行してまいりました。

しかしながら、人材に関する引き合いの増加に伴い、同業他社との人材獲得競争が激化したことから、本日公表したとおり、初年度の平成 28 年 9 月期の業績において、売上、純利益共に計画を上回りましたが、採用人数が当初計画を下回る結果となりました。この結果をふまえ、今後さらなる同業他社との人材獲得競争の激化が予想されることから、新中期経営計画を策定することといたしました。

3. 新中計経営計画の重点施策

①積極的な採用活動をスタートさせ、エンジニア数 2,000 人体制の構築を目指します。

特に、若い未経験人材の採用と外国人技術者の採用に力を入れ、他社と差別化していきます。

②研修体制を充実させ、当社で若い未経験人材を業界の次代を担うエンジニアに育成していきます。

③顧客の要望に即した技術を有するエンジニアを、適切かつ迅速にマッチングできる業界 No. 1 の営業力を目指します。

4. 株主還元政策

①業績に連動した利益配分とし、每期増配を目指します。

②利益率の維持+高配当による自己資本の肥大化防止 ⇒ ROE20%を目指します。

③IR 活動を活発化させ、流動性の向上、適正な株価水準の維持に努めます。

以 上